



4.山から伐り出してきた丸太を大黒柱に。住めば住むほど、木の味わいが深まっていきそうなりリビング。
5.玄関ホールからLDK。玄関と廊下の間には光を通す素材を使った引き戸を入れ、明るさを確保。6.リビングと続き間になった和室。7.木の造作収納でリビングとの調和を図ったダイニング・キッチン。



1.店舗2階にある「green's café」。トドマツのカウンター、ナラ材のフロアリングなど、自然素材の優しさにあふれる。奥がミーティングルーム。オープン時間：10:30～18:00。2.丹羽工務店のシンボルカラーであるグリーンを基調にしたミーティングルーム。テーブルはタモで造作。
3.別棟ながら、自宅（右）と店舗は統一感を持たせて。広い駐車場は町民のバザー会場などにも活用されている。

同じ敷地内には店舗も併設

FAS工法の暖かさと 道産材の木のぬくもり

ご自身が営むお弁当屋さんの新築に際し、敷地内に自宅も構えたEさん。どちらも白をベースに、統一感のある外観が特徴的です。

斜里町はオホーツク海沿岸の街だけに、流氷が接岸してからの寒さは特別。そんな寒さに対して、家の中ではストーブをどんどん焚くのが当たり前の生活。Eさんもそう思っていました。息子さんがかオール電化の暖かいファースの家で建てたのをきっかけに、イメージが一新。自宅の建て替えにあたって、迷うことなく選んだのがFAS工法でした。

プランは60代という年齢を考え、シンプルで落ち着いた雰囲気。道産材を多用した木のぬくもりあふれる空間で、息子さん夫妻がお孫さん連れられて来てゆっくりできるよう、リビング

は広さを確保。2階には斜里岳が望めるバルコニーもあり、美しいロケーションを楽しみながらの暮らしを満喫しています。

また、お弁当屋さんの2階には、Eさんご厚意で、施工を担当した丹羽工務店のカフェ兼ミーティングルーム「green's café」もオープン。パスタなどの食事や飲み物が味わえるカフェ機能と同時に、「家を建てよう」と計画中の人は、その空間で実際に使われている素材を確認しながら、打ち合わせを進めることができます。写真や見本だけではわからない塗り壁の質感など、家づくりの参考になると好評。実物大の見本帳ともいべき空間は、夢の一つひとつ具体的に積み重ねていく場所として喜ばれているようです。



3

(有)丹羽工務店

TEL 0152-23-2760

斜里郡斜里町字豊倉55番地61

URL: <http://www.scene21.jp>

E-mail: info@scene21.jp



2

3

5